

国際観光学科 2年 前期 専門基礎科目／専門科目

1. 起業論
2. 商品企画実務研究
3. データ・マーケティング論
4. ICT開発実務演習
5. 地域開発実践演習(AT)
6. 地域開発実務演習(FT)
7. 卒業研究

国際観光学科						
科目名: 起業論			担当教員 氏名: 山田 拓			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門基礎科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
観光業、とりわけ、旅行業、宿泊産業、飲食サービス業 や添乗員派遣業などの起業に際して必要な知識全般について起業経験者による授業を、実際の経験を中心に、乗り越えるべき課題や、実現のための資金、法制度等の条件整備のほか、留意すべきポイントなどをテーマに展開する。主に「アドベンチャー・ツーリズム」、「一般旅行業」起業のための基礎講座である。					起業、マーケティング、ツーリズム、サステイナブルツーリズム、アドベンチャーツーリズム、SDGs、地方創生	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1・3・4・5・7・8・10	
B 専門的技術			社会貢献、自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理してその問題を解決できる。			
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。			
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 50 %	発表: 20 %	実技試験:	%	その他: 30 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①講義: 概論	6月16日1限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
②講義: 宿泊業(ゲストスピーカー)	6月16日2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
③グループワーク: 事例研究	6月16日3限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
④グループワーク: 事例研究	6月20日1限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑤プレゼンテーション: (事例研究について)	6月20日2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑥講義: 旅行業	6月20日3限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑦グループワーク: 事例研究	6月21日1限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑧プレゼンテーション: (事例研究について)	6月21日2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑨講義: マーケティング	6月21日3限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑩講義: ビジネスモデリング(ゲストスピーカー)	7月4日1限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑪グループワーク: マーケティング	7月4日2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑫グループワーク: ビジネスモデリング	7月4日3限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑬グループワーク: ビジネスモデリング	7月5日1限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑭プレゼンテーション: ビジネスモデリング	7月5日2限	【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分			
⑮講義: 起業論まとめ	7月5日3限	【事前】全配付資料等の確認 【事後】授業の復習	240分			
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ツーリズム分野での起業について、実践的な内容をアクションラーニング形式で実施する講座です						

国際観光学科

科目名： 商品企画実務研究				担当教員 氏名： 米 田 晶		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	2年次	前期	専門基礎科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：						
授業科目の学修教育目標の概要： 「商品企画論」で学んだ理論、スキルを活用し、新しい製品またはサービスを企画し、実践につなげていきます。具体的には、富山県の地域振興に必要な企画をまとめ、関係者の前で提案します。 関係各所からいただいたアドバイスを活かしてブラッシュアップした企画案に仕上げ、採用される提案を目指しましょう。 授業における学修の到達目標					キーワード 地域振興、マーケティング4P、STP、プロトタイピング、フィールドワーク、調査、データ分析、企画書作成、提案	
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術			フィールドワーク、調査設計、データ分析のスキルを活用することができる			
D 問題解決力			富山県の地域振興に必要な企画を考えることができる			
F チームワーク・リーダーシップ			グループ内で役割分担をしながら主体的に取り組むことができる			
H コミュニケーション力			多様な年齢や地域に住む方々とコミュニケーションをとることができる			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：	%	レポート： 30 %	発表： 40 %	実技試験：	%	その他： 30 %
特記事項：						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 企画の進行に合わせて適宜提出してください						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： Googleクラスルームを通じて評価し、フィードバックを行います。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
① ガイダンス:テーマを決める				取り組むテーマを考える	240分	
② フィールドワーク: 企画提案を行うフィールドに出向き、問題点を見極める(1)				フィールドワークの計画を立てる	240分	
③ フィールドワーク: 企画提案を行うフィールドに出向き、問題点を見極める(2)				フィールドノート作成・提出	240分	
④ グループワーク: アイデア創出、アンケート調査設計(1)				企画に関する情報収集	240分	
⑤ グループワーク: アイデア創出、アンケート調査設計(2)				調査項目の設計、調査実施	240分	
⑥ グループワーク: コンセプト開発				企画コンセプトを考える	240分	
⑦ グループワーク: 競合・技術の確認				類似の企画との違いを考える	240分	
⑧ グループワーク: 調査結果データ分析				調査結果を分析する	240分	
⑨ グループワーク: 市場規模、顧客ニーズの確認				一次データまたは二次データから市場規模を把握	240分	
⑩ グループワーク: 企画案のつくりこみ(1)				具体性のある企画案を考える	240分	
⑪ グループワーク: 企画案についてディスカッション				企画案について客観的に評価	240分	
⑫ グループワーク: 企画書作成				企画書に落としこむ	240分	
⑬ 企画提案: 関係者の前でプレゼンテーションを実施し、フィードバックを得る				企画をブラッシュアップする	240分	
⑭ 企画案修正				企画案の確認	240分	
⑮ まとめ				企画案の最終調整	240分	
使用テキスト：				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： これまでは課題が与えられていましたが、学生が主体的にテーマを見つけ、企画を立ち上げる演習科目です。テーマに応じて、関係者に来学していただき、採用可否を含め評価いただきます。						

国際観光学科

科目名: データ・マーケティング論				担当教員 氏名: 米田 晶		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門基礎科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要: 観光地域づくり法人(DMO)は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成するための活動を主導するための組織である。観光地は、多種多様な組織の集合体であり、各組織にはそれぞれの経営理念や目標は異なっている。関係者とともに、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人					キーワード DMO、購買データ分析、CRM、STP、 着地型観光、観光マーケティング、 マーケティング4P、 観光地域マネジメント手法	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			CRMとその手法について理解できる			
B 専門的技術			購買データを分析し、ロイヤルカスタマーを特定できる			
D 問題解決力			ターゲット顧客に特化した商品化で、地域資源を収益化できる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 20 %		レポート: 30 %		発表: 20 %		実技試験: % その他: 30 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①ガイダンス:観光CRMの重要性				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
②DMOとは?				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
③観光CRMを活用したDMOによる観光マーケティングとは?				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
④観光データの見方				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑤観光CRMを活用したデータ分析(1)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑥観光CRMを活用したデータ分析(2)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑦観光CRMを活用したデータ分析(3)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑧観光CRMを活用したデータ分析(4)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑨消費者行動から見た観光購買行動				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑩グループワーク:富山県の観光戦略を考えてみよう(1)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑪グループワーク:富山県の観光戦略を考えてみよう(2)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑫グループワーク:富山県の観光戦略を考えてみよう(3)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑬グループワーク:富山県の観光戦略を考えてみよう(4)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑭グループワーク:富山県の観光戦略を考えてみよう(5)				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240	
⑮まとめ				【予習】配布資料を読む。 【復習】プレゼン資料を作成・発表する。	240	
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): データ分析から地域の重要な顧客を選ぶ方法を知り、地域の観光戦略策定に取り組んでみましょう。						

科目名: ICT開発実務演習				担当教員 氏名: 齋藤 ティム、鷹西 恒		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	2年次	前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		The instructors possess considerable expertise in instructing ICT at the secondary and tertiary levels, as well as substantial practical experience and knowledge in the domain of Engineering.				
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
This course aims to prepare students to demonstrate understanding and leadership in the field of accessible tourism and to engage with technology-based solutions to overcome barriers. It focuses on the importance of inclusive tourism and explores various strategies and technologies to make travel more accessible for people with disabilities.					Assistive & Inclusive Technologies Accessible tourism Barrier Free People with Disabilities (PWD)	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			Students will gain a comprehensive understanding of the merits of accessible tourism ways technology can be leveraged to overcome barriers for people with disabilities.			
B 専門的技術			Students will develop expertise in using and refining the use of technology-based solutions for accessible tourism.			
F チームワーク・リーダーシップ			Students will learn to collaborate with stakeholders and users with disabilities to consider the importance of inclusive tourism experiences.			
G 倫理観			Students will learn about ethical considerations related to accessible tourism including issues related to laws, accessibility provisions, social and corporate responsibility and human rights.			
H コミュニケーション力			Students will develop effective communication skills through group work and choosing language when interacting diverse audiences.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %		レポート: 40 %		発表: 40 %		実技試験: %
						その他: 20 %
特記事項: In this practical subject, students will engage in fieldwork and interact with people from diverse backgrounds, requiring respect for stakeholders when representing the department and college. Integrity and self-efficacy are paramount in this task.						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 累積評価に加えて、学生は中間レポートと最終プレゼンテーションを作成し、教授と交渉します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 発表、レポート、課題のフィードバックは個別に指導する。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
① Overview of accessible tourism, concept of accessible tourism, importance in promoting inclusive travel				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
② Technology-based accessibility solutions for tourism: innovations and initiatives				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
③ Technology-based accessibility solutions for tourism: international case studies				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
④ Technology-based accessibility solutions for tourism: guest speaker				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑤ Assistive technologies for tourism: hearing aids, mobility aids, and tactile maps etc				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑥ Accessibility guidelines: legal and regulatory frameworks, ADA, UN World Tourism Organization's Accessible Tourism for All etc				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑦ Report: research, preparation and production				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑧ Effective Communication Strategies for Interactions (Digital & Face to Face)				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑨ Pre-fieldwork technical training				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑩ Group work planning and preparation				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑪ Fieldwork: group implementation				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑫ Fieldwork: group implementation				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑬ Fieldwork: individual reflection				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑭ Group work: preparing findings, synthesis, and evaluation				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
⑮ Presentation of fieldwork findings				【予習】資料	【予習】90分	
				【復習】資料	【復習】90分	
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Explore the exciting opportunities to create innovative and inclusive travel experiences by enrolling in this course, and make a positive impact on the lives of people with disabilities through the use of technology.						

国際観光学科

科目名: 地域開発実務演習(アドベンチャー・ツーリズム)				担当教員 氏名: 山田拓、米田晶		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	選択必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
飛騨古川の美ら地球(ちゅらぼし)を拠点としたアドベンチャー・ツーリズムの実務演習を行う。 具体的には主に訪日外国人客を対象とした、サイクリングツアー、ウォーキングツアー等を体験すると共に、新しいコンテンツの企画開発を行う。英語によるガイドング、また古民家再生の手法なども現場で学ぶ。コンテンツの企画開発については、最終的に現地で実際に業務に当たるプロのガイドや企画担当者の前でプレゼンテーションを行う企画発表会や、意見交換会を開催し、アドベンチャー・ツーリズムの富山を初め国内各地における商品化の可能性を、商品の魅力、事業性、継続性等の観点から学ぶ。自らの開発商品の提案は卒業研究につなげていく。					アドベンチャー・ツーリズム、ブランディング、着地型観光、エコツーリズム、持続可能な観光、デスティネーション・マーケティング、デスティネーション・マネジメント、事業ポートフォリオ、地域経営	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術			社会貢献・自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 20 %	発表: 30 %	実技試験: 20 %	その他: 30 %	
特記事項:						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①【米田】ガイダンス: ツアー実施の心得(ゲストスピーカー)				5月30日(火)3限	配布資料を読みこむ	240分
②【米田】事前指導: コースの下見と役割分担(ゲストスピーカー)				6月6日(火)3限	関連資料収集	240分
③【米田】事前指導: ツアー演習(ゲストスピーカー)				6月13日(火)3限	ツアー準備	240分
④【米田】事前指導: ツアー演習(ゲストスピーカー)				6月13日(火)4限	ツアー準備	240分
⑤【山田(拓)】演習実施: ツアー実施のながれ				7月10日(月)3限	実習プランの内容確認	240分
⑥【山田(拓)】演習実施: ツアー実施のながれ				7月10日(月)4限	実習プランのコース確認	240分
⑦【山田(拓)】演習実施: コースの下見				7月11日(火)1限	インタープリテーションの流れ確認	240分
⑧【山田(拓)】演習実施: コースの下見				7月11日(火)2限	実習プラン実施時に必要な役割確認	240分
⑨【山田(拓)】演習実施: ガイディング準備				7月11日(火)3限	ガイディング内容をまとめる	240分
⑩【山田(拓)】演習実施: ガイディング準備				7月11日(火)4限	ガイディング準備	240分
⑪【山田(拓)】演習実施: ツアー演習(1)				7月12日(水)1限	ガイディング準備	240分
⑫【山田(拓)】演習実施: ツアー演習(2)				7月12日(水)2限	ガイディング準備	240分
⑬【山田(拓)】演習実施: ツアー演習(3)				7月12日(水)3限	アンケート内容を理解し実施	240分
⑭【山田(拓)】演習実施: まとめ				7月12日(水)4限	演習内容をふりかえりまとめる	240分
⑮【米田】演習報告とまとめ(地域振興に資する観光とは)				7月25日(火)3限	演習報告準備	240分
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 国内外から多くの注目を集めるツアー実施現場を体感できる授業です。観光産業のダイナミックさや将来性を考えたい学生にはピッタリの授業科目です。						

国際観光学科

科目名: 地域開発実務演習(食のツーリズム)				担当教員 氏名: 米田晶		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	選択必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
旅行開発事例研究の授業の中で取り上げた箇所、特に富山県内の資源、施設を中心に、富山産食材取扱商社、料理研究家、飲食店、日本酒製造所等関連企業と協働して地元振興策としてのテーマ設定を行い、実務実習の中で研究を進めていく。またスペイン、フランスのガストロノミー専門大学からの留学生との意見交換をする中で美食の都、富山の食のあり方を考え、卒業研究につなげていく。					フードツーリズム、ブランディング、伝統野菜、富山湾の海産物、6次産業化、着地型観光、エコツーリズム、持続可能な観光、デスティネーション・マネジメント、商品開発	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術			社会貢献・自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 20 %	発表: 30 %	実技試験: 20 %	その他: 30 %	
特記事項:						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
① ツアープランの精緻化: テーマ、コンセプト、行程確認				4月11日(火)3限	企画商品プレゼン準備	240分
② ツアープランの精緻化: ツアー金額、実施可能性確認(ゲストスピーカー)				4月14日(金)1限	実施ツアー行程、見積準備	240分
③ ツアープランの精緻化: 役割分担				4月21日(金)1限	企画商品について調べる	240分
④ ツアー下見: シミュレーション(1)(ゲストスピーカー)				6月3日(土)1限	ガイディング準備	240分
⑤ ツアー下見: シミュレーション(2)(ゲストスピーカー)				6月3日(土)2限	ガイディング準備	240分
⑥ ツアー下見: シミュレーション(3)(ゲストスピーカー)				6月3日(土)3限	ガイディング準備	240分
⑦ ツアー下見: シミュレーション(4)(ゲストスピーカー)				6月3日(土)4限	ガイディング準備	240分
⑧ ツアー実施準備(最終)(ゲストスピーカー)				6月9日(金)1限	下見のふりかえりと予約確認	240分
⑨ 演習実施: ツアー演習(1)(ゲストスピーカー)				7月15日(土)1限	ガイディング準備	240分
⑩ 演習実施: ツアー演習(2)(ゲストスピーカー)				7月15日(土)2限	動線確認	240分
⑪ 演習実施: ツアー演習(3)(ゲストスピーカー)				7月15日(土)3限	必要な小道具の準備	240分
⑫ 演習実施: ツアー演習(4)(ゲストスピーカー)				7月15日(土)4限	予約最終確認	240分
⑬ ツアーふりかえり(ゲストスピーカー)				7月21日(金)1限	ツアー実施後の気づきまとめ	240分
⑭ ツアープランのブラッシュアップ				7月28日(金)1限	企画商品ブラッシュアップ	240分
⑮ まとめ(ゲストスピーカー)				7月28日(金)3限	最終企画案プレゼン準備	240分
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 自分たちの企画した旅行商品のモニターツアーを実施し、実際に販売できる商品へとブラッシュアップするプロセスを体験できる科目です。 サービス提供者となって、地域振興の実践現場を体感しましょう!						

国際観光学科

科目名: 卒業研究				担当教員 氏名: 齋藤望、鷹西 恒、米田 晶、齋藤ティム		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	演習	必修	通年科目です。 残り半期は現状、2年生後期に開講予定
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要: 教員と学生間および学生相互の積極的なコミュニケーションを基礎として、設定されたテーマ・対象・課題等に対する学修・研究を進めていきます。観光学の学修・研究を進め、最終的に卒業論文の作成に結びつく能力の獲得を目指す。 AD教員からの指示にもとづきテーマ・対象・課題に取り組み、その経過または成果を適切な方法で表現することができる。また、卒業論文の完成に向けた学修・研究を行うことができる。						キーワード 主体性 コミュニケーション力 課題解決力
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1・3・8・10			
B 専門的技術			社会貢献、自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理してその問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %		レポート: 60 %		発表: 10 %		実技試験: %
						その他: 30 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 個別指導により、必要な(本人にとって)知識の習得、その題目にあった論文構成の方法、また、問題点があればその解決法の指導を行う						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①国際観光学部での学びにおける卒業研究の位置づけ				1年次後期	配付資料を読む	240分
②研究課題の検討と決定				1年次後期	テーマの検討と資料収集	240分
③個別研究指導(研究計画書の作成)				1年次後期	先行研究の確認と資料収集	240分
④個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑤個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑥個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑦個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑧個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑨個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑩個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑪個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑫個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑬個別研究指導				1年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑭個別研究指導				1年次後期	中間報告会準備および学習内容の整理、プレゼンテーション	240分

授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
⑮中間報告会	1年次後期	中間報告会での質疑を受けて研究内容を整理する。	240分
⑯個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑰個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑱個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑲個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
⑳個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
㉑個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
㉒個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
㉓個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
㉔個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
㉕個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
㉖個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
㉗個別研究指導	2年次後期	執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分
㉘卒業論文の提出と発表資料の作成	2年次後期	発表内容の整理、プレゼンテーション準備	240分
㉙卒業研究発表	2年次後期	学生等の意見や指摘を咀嚼して考察を行う	240分
㉚まとめ	2年次後期	論文等の最終チェックと提出	240分
使用テキスト:なし。適時紹介する		その他参考文献など:『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる! レポート・論文のまとめ方』 新田 誠吾 すばる舎 ISBN 978-4799108376	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):卒業論文の場合、字数や書式等に基準が設けられる。卒業制作の場合も含め、担当者からの指示に従うこと。そして、各ツーリズムでの学びを土台としていること、指導教員の指導に従っていることが求められる。以上を前提に提出された卒業論文により評価する。			